

高速 Helical-CT 撮影による上行大動脈モーションアーチファクト低減効果の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

急な胸や背中痛みなどで救急受診された患者さんでは、大動脈に異常がないかを調べるために CT 検査が有効です。しかしながら、CT 画像では、撮影中の心臓の動きによって血管の輪郭がぼやけたり、二重に見えたりすることがあります。このような画像の乱れを「モーションアーチファクト」といいます。モーションアーチファクトが強い場合、血管の形が実際とは違って見えることがあり、画像の見やすさに影響する可能性があります。特に、心臓から大動脈が出てすぐの部分である「上行大動脈」は、心臓の拍動の影響を受けやすい部位です。

近年、CT 装置の性能向上により、従来よりも短い時間で撮影できる高速撮影が可能になっています。高速撮影では、心臓の動きによる画像のブレを少なくできる可能性があります。

本研究では、通常の撮影と高速撮影で撮影された単純 CT 画像を比較し、上行大動脈に生じるモーションアーチファクトの程度と血管形状の見え方の違いを評価します。

この研究は、すでに行われた検査の画像や記録を使って行うもので、患者さんに新たな負担がかかることはありません。また、個人が特定される情報は一切使用せず、研究結果は統計的に処理されます。

研究の対象となる方

2023 年 3 月～研究実施許可日までに当院で胸部または胸腹部単純 CT 検査を受けられた方

使用する試料・情報

CT 画像

撮影時の心拍数

肺動脈分岐レベルにおける上行大動脈の円形度および短径/長径比

使用開始予定日：2026 年 7 月 29 日

研究予定期間

2026 年 7 月 29 日～2026 年 10 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 中央放射線部 大石早姫

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止するとともに、収集した情報等も可能な限り削除します。既に研究成果の公表後などで削除が困難な場合は、その旨をご説明します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係がなく、ご協力いただけない場合も不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を

閲覧することが出来ます。

問い合わせ先	済生会熊本病院 中央放射線部 大石 早姫 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000（代表）
---------------	---